

重点目標と具現策	◎ これまでの実践とＩＣＴのベストミックスによる教育の質の向上 ○ 学校評価や学力調査等の結果を次に生かすＰＤＣＡサイクルの充実 ○ 地域・家庭とともにある学校づくりの推進 1 「よく考える子」の育成 (1) 汎用的読解力の育成を通じた、情報活用能力の育成 (2) 協働的な学びの場の充実とＩＣＴ活用による、伝え合う力の育成 (3) 授業のユニバーサルデザインと、学力基盤の育成 2 「助け合う子」の育成 (1) 「教える・褒める・励まし続ける」指導による、自己肯定感の醸成 (2) 積極的な合理的配慮による、一人一人を大切にした教育の推進 (3) 望ましい学級集団育成や関係機関との連携による、いじめを生まない学校づくり 3 「進んで励む子」の育成 (1) 児童自らの可能性を発見・伸張できる場の工夫 (2) 「探究型の学び」の充実による、自主性や自律性、向上心の育成 (3) 防災・安全教育の推進による、自らの命を守る行動ができる児童の育成
学校運営上の留意点	◎ 時を守り、場を清め、礼を正す。 1 人的管理 (1) 教育公務員の使命を自覚し、服務規律を守り、信頼関係を築く。 (2) 教員のキャリアステージ全体を通じて、教育のプロとしての資質向上に努める。 (3) 教職員一人一人が力を発揮できる環境を整備し、「チーム学校」を機能させる。 2 物的管理 (1) すべての児童にとって、居心地、学び心地の良い環境を提供する。 (2) 教材教具・施設等を、効果的かつＳＤＧｓ達成に向けた活用を心掛ける。 (3) 児童の生命を守るため、地域ぐるみの防災・減災体制づくりを推進する。 3 事務管理 (1) 文書処理及び責任遂行を迅速・正確に行い、文書(データ)を集中管理する。 (2) 関係法令による表簿を正確に作成・保管・廃棄する。 (3) 個人情報、金銭・預金の保管・処理・監査を適正に行う。 4 働き方改革 (1) 3-(1)(2)及び業務効率化ツール導入により「ムリ」「ムダ」「ムラ」を排除する。 (2) 1-(2)(3)により学校の全体最適を保ち、パフォーマンスを最大に発揮する。
本校教育の特色と展開	○ 地域の自然・産業・文化を活かした学習の推進 ◎ 地域に生きる人々や保護者による学校支援体制の構築 1 人権・同和教育と特別支援教育の充実 菊間隣保館を核とする地域ぐるみで取り組む人権・同和教育を学校経営の基盤に据え、多様性に対応するとともに、一人一人の成長を促す特別支援教育を展開する。 2 地域に学ぶキャリア教育の推進 今治市や菊間町の自然・産業・文化の良さを知り、体験し、積極的に発信する。また、それらに携わる人々の生き方に触れ、夢や希望、「未来に憧れる自己イメージ」を獲得する教育活動を展開する。 3 近隣校との連携・交流学习 県無形民俗文化財「お供馬」に関する協同学習(4年生)、集団宿泊研修(5年生)を計画的・効果的に行い、亀岡小との交流学习を推進する。また、菊間中学校区コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)として、小中9年間の児童生徒の育ちを、地域ぐるみで支援する。